

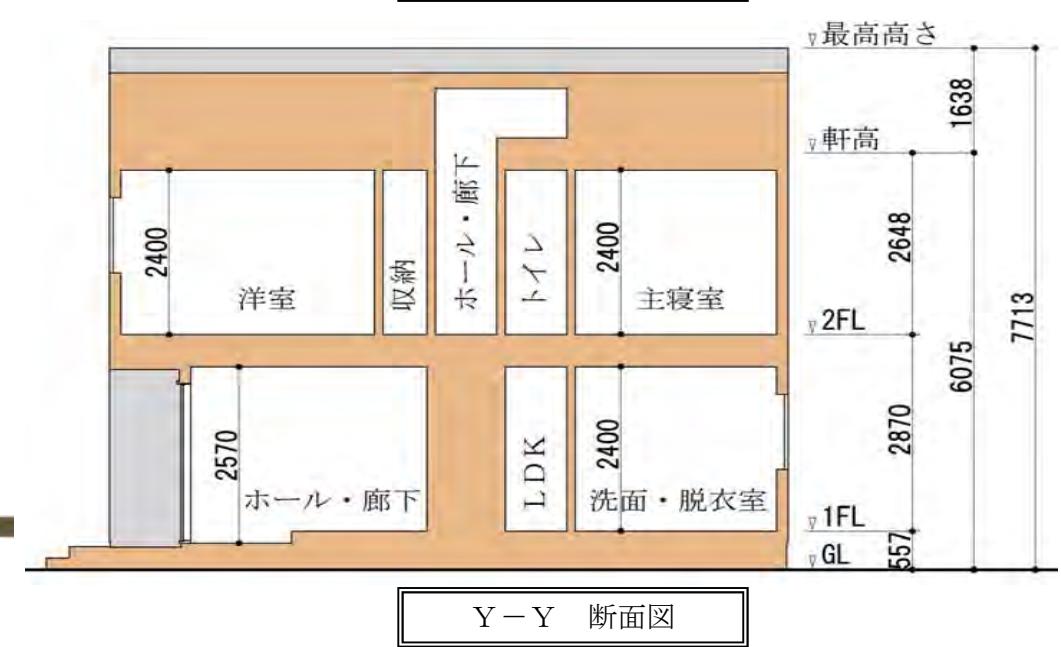
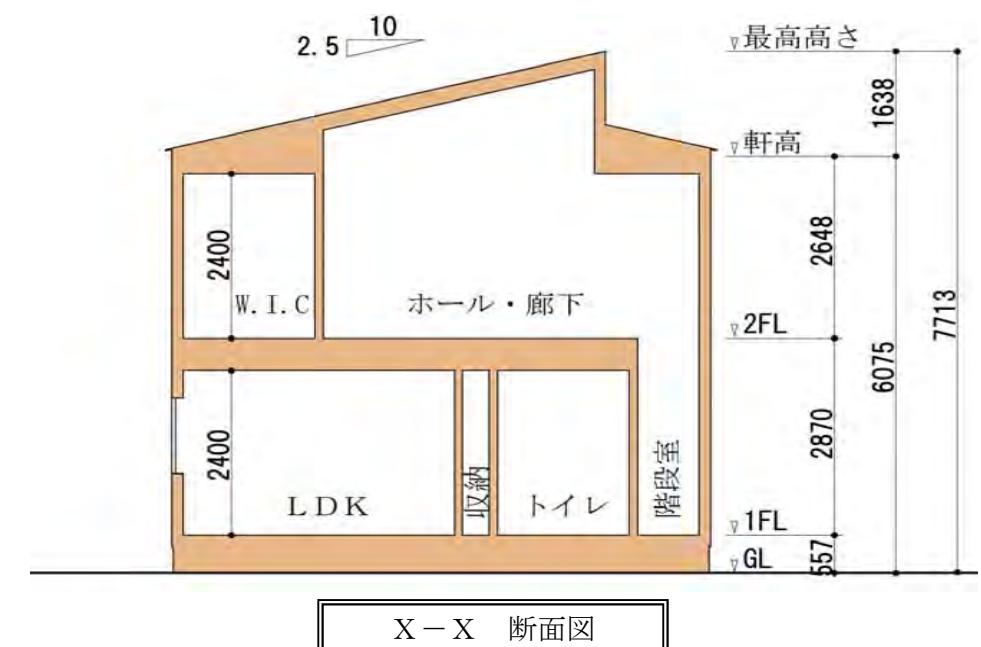
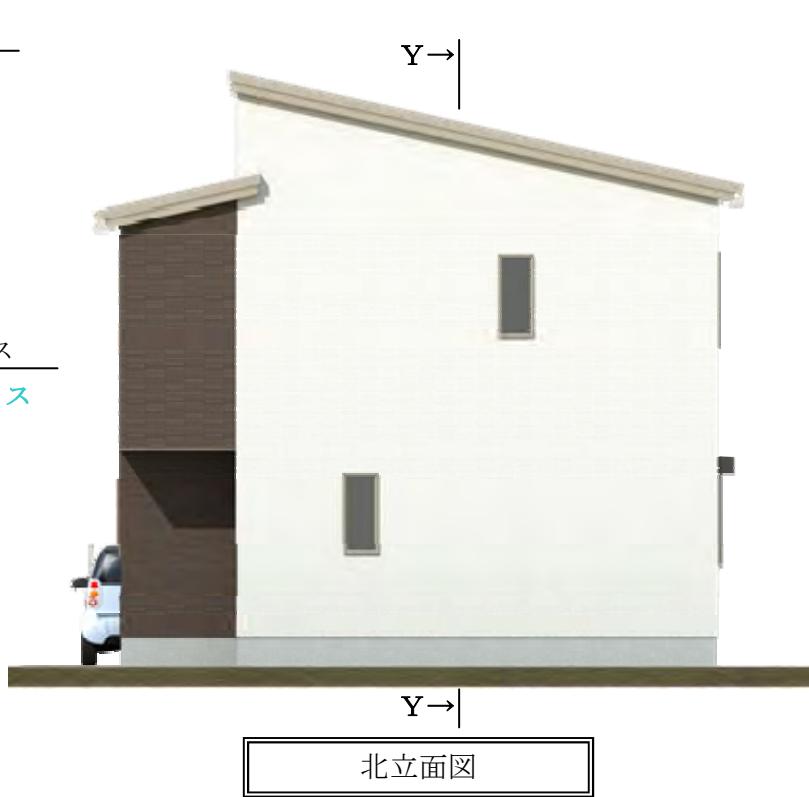
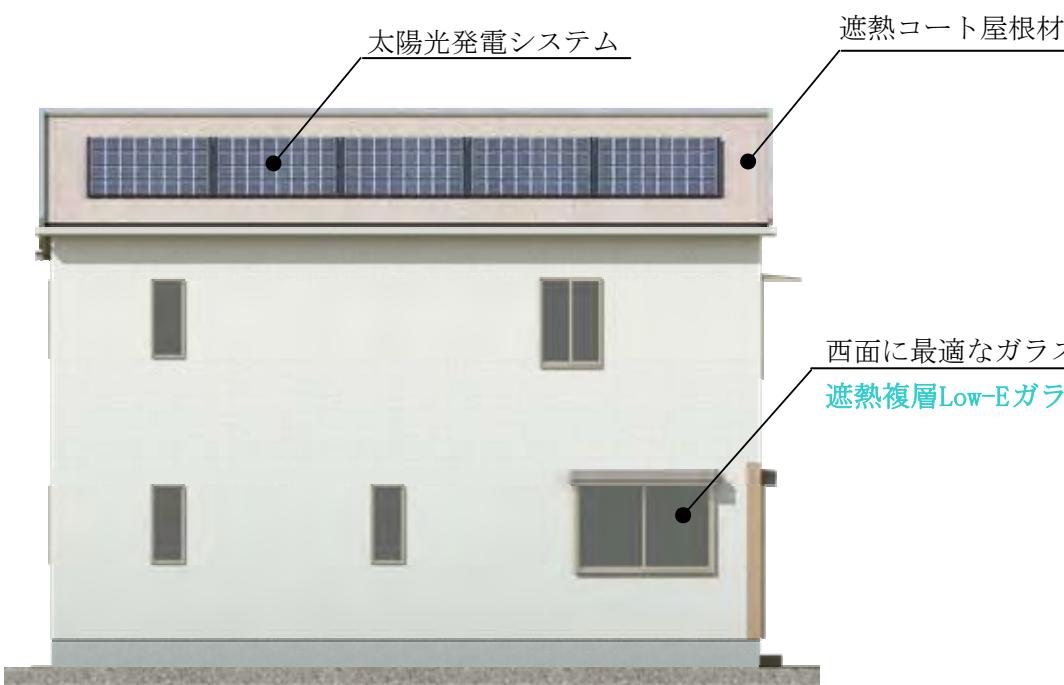
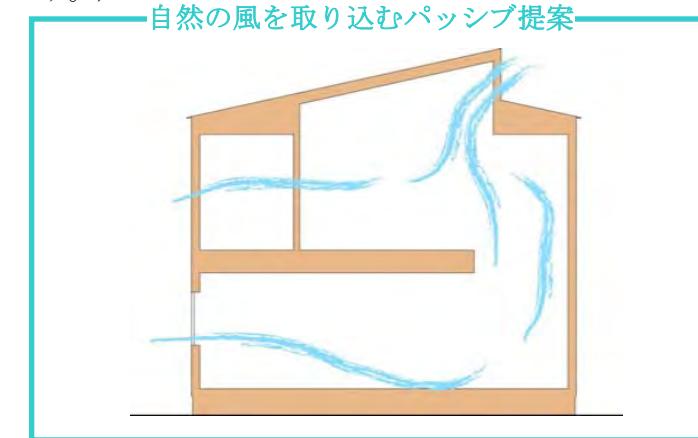
## 「モデル住宅の立面図及び断面図」

(※整理用ですので、何も書かないでください。)

## 1. 立面図・断面図：省エネ設備機器の設置状況

全窓low-Eガラス

(1) モデルプラン① (南入り)

(事業対象地内ではモデル住宅に準じた仕様（太陽光発電・エコキュート・蓄電池・オール電化など）  
とし、建物形状や間取りの変更、設備（トイレやBUなど）のグレードUPは可とします。)

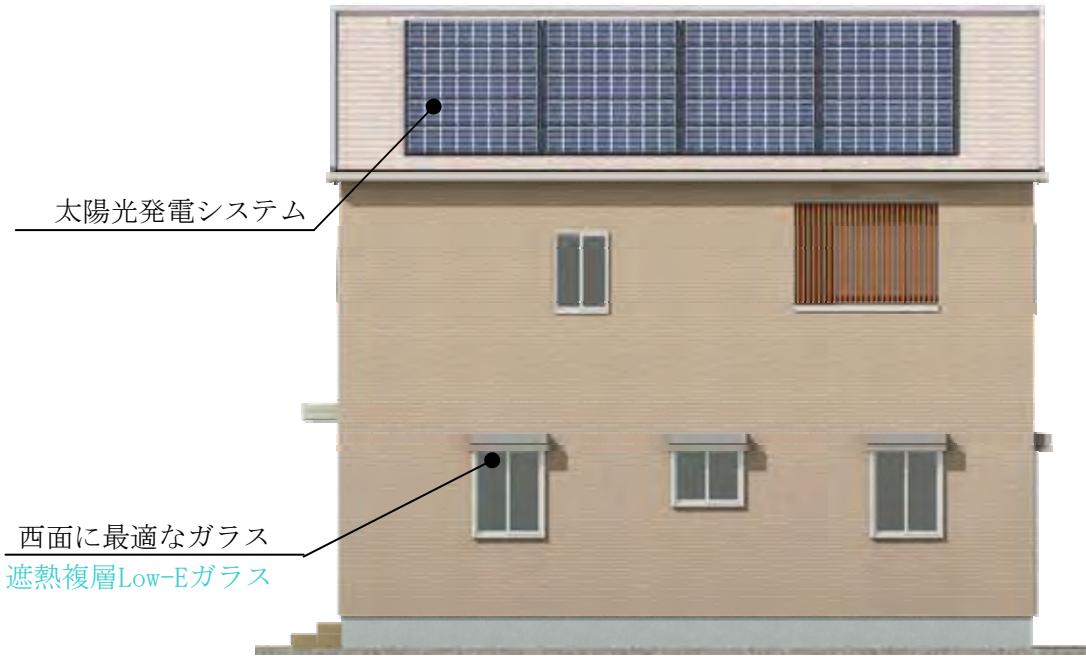
## 「モデル住宅の立面図及び断面図」

(※整理用ですので、何も書かないでください。)

(2) モデルプラン② (北入り)

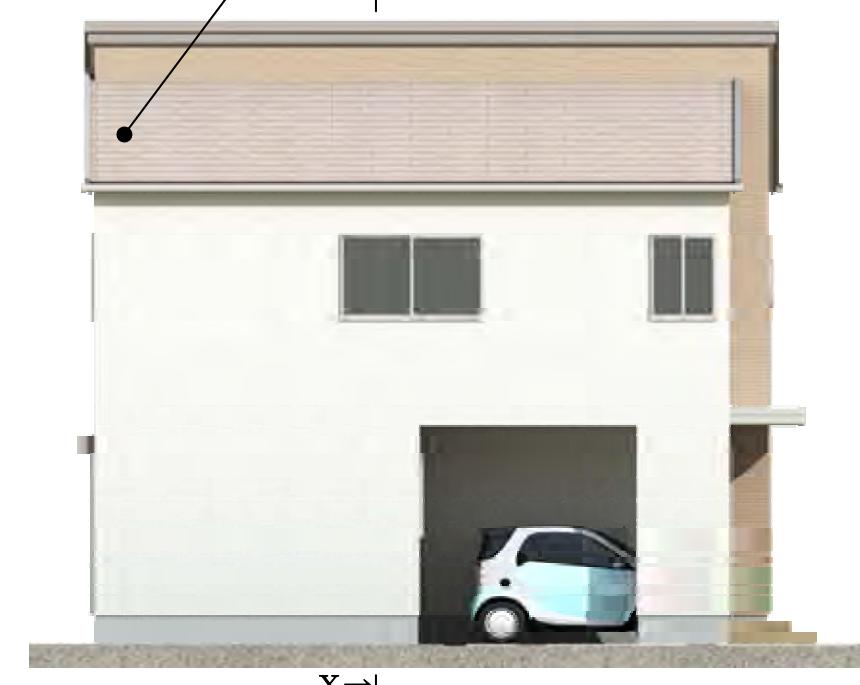
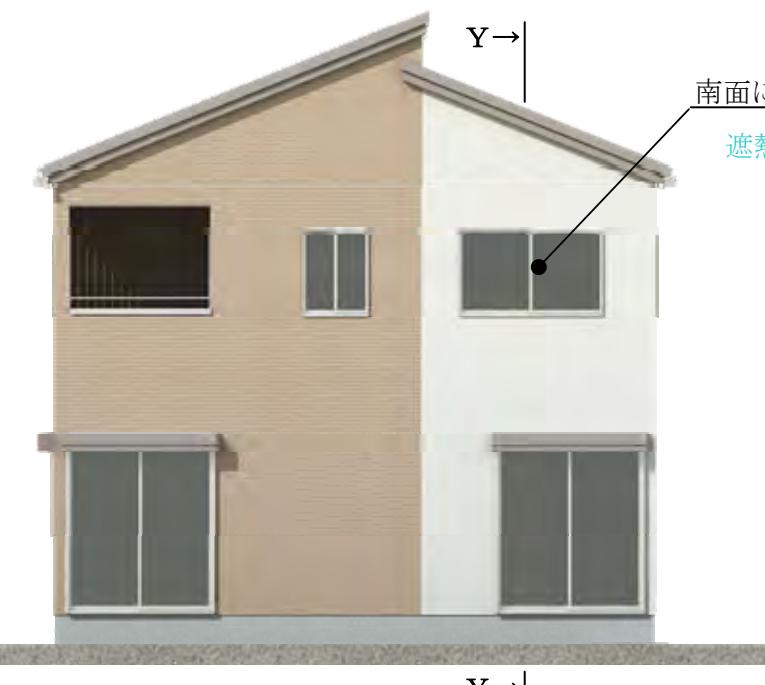
全窓Low-Eガラス

(事業対象地内ではモデル住宅に準じた仕様(太陽光発電・エコキュート・蓄電池・オール電化など)とし、建物形状や間取りの変更、設備(トイレやBUなど)のグレードUPは可とします。)



北立面図

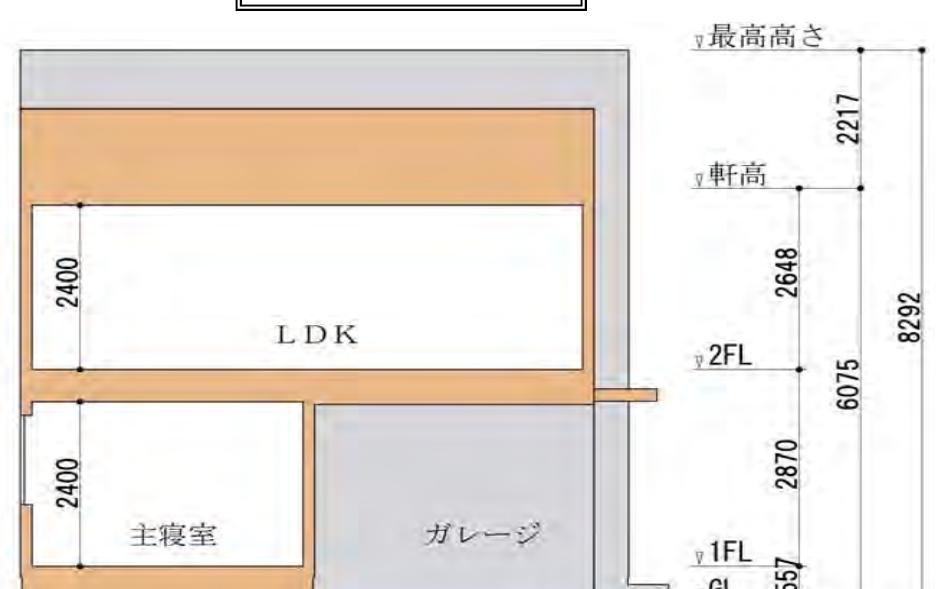
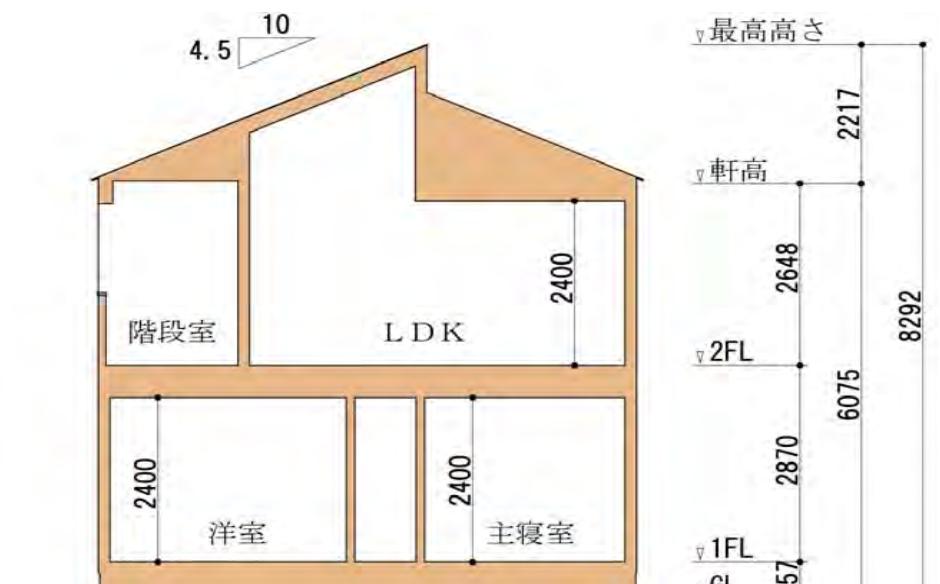
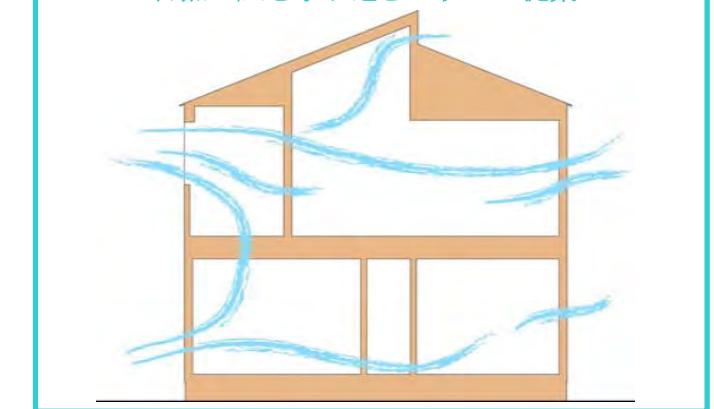
西立面図



南立面図

東立面図

自然の風を取り込むパッシブ提案



## 「モデル住宅の立面図及び断面図」

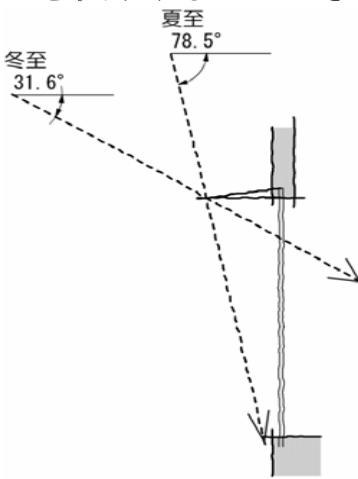
(※整理用ですので、何も書かないでください。)

## 2. 省エネ設備機器の各詳細説明

## 全モデル共通仕様

## (1) 窓小庇 (庇の出500)

◆省エネ効果  
夏場の強い日差しが居室に入ることを抑制し、エアコンの利用負荷を軽減します。出が500mmの庇を使用すれば、テラス窓の場合、夏至の南中高度で日差しが入りません。逆に、冬場の太陽高度が低い時期は、居室に日差しを取り入れることができます。

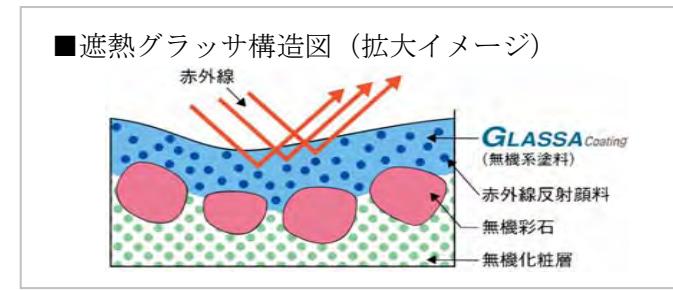


## ◆その他の効果

- ・アクセント効果：窓まわりに統一した庇をつけることで、外観で街全体に一体感を持たせます。
- ・雨除け効果：風や雨による窓の汚れを軽減します。

## (2) 遮熱コート屋根材

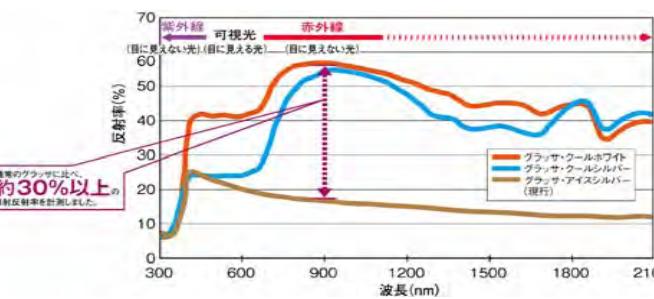
◆赤外線反射顔料を配合  
色あせしにくい無機塗料「グラッサコート」に、赤外線反射顔料を配合することで、高いレベルで太陽光の熱を反射します。



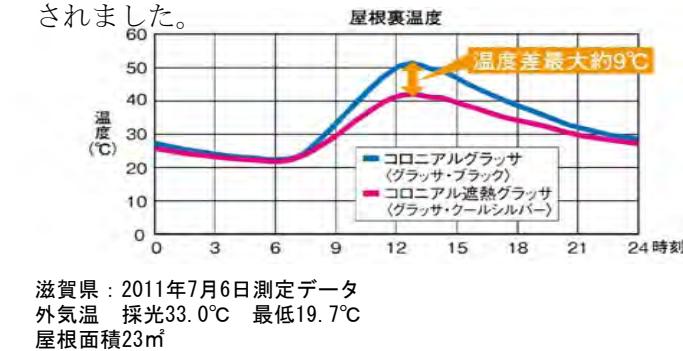
## ◆屋根材の温度上昇を抑制

屋根材への蓄熱を抑え、夜間の大気への放熱、居室空間への熱の伝達を抑制します。

## グラッサの太陽光反射特性図



◆室内の温度低下に貢献  
屋根材の温度上昇を抑えるため、屋根裏への蓄熱を大幅に減少させることができます。実験結果によると、屋根裏の温度は、通常の屋根材に比べ9度低減されました。



滋賀県：2011年7月6日測定データ  
外気温 採光33.0°C 最低19.7°C  
屋根面積23m<sup>2</sup>

## (3) 全窓 Low-Eガラス

## 遮熱高断熱複層Low-Eガラス

夏の強い日差しはカットして、冬は暖かいまま。

特殊金属膜効果で、室内の明るさはそのままに、夏の強い日差しを約60%カットし、冷房効果を高めます。



◆2種類あるLow-Eガラス（遮熱高断熱仕様、高断熱仕様）の中から窓が付く方角によって、使用するLow-Eガラスを使い分けします。

## 方位別標準ガラス表

	庇無し	庇有り
南	遮熱Low-E	高断熱Low-E
西	遮熱Low-E	遮熱Low-E
北	高断熱Low-E	高断熱Low-E
東	高断熱Low-E	高断熱Low-E

## 西面に最適なガラス

## 遮熱複層Low-Eガラス

遮熱Low-Eは特に暑い夏の西日を遮ることができます。紫外線カット率も90%近くあるため、家具などの色あせ防止にも効果があります。

## (4) 棚間内装ドア

## ◆通風効果

扉を開めた状態でも通風を妨げず、屋外から取り込んだ空気を屋内に循環させることができます。



## 高断熱複層Low-Eガラス

冬の日差しを取り込んで室内の熱を逃しません。

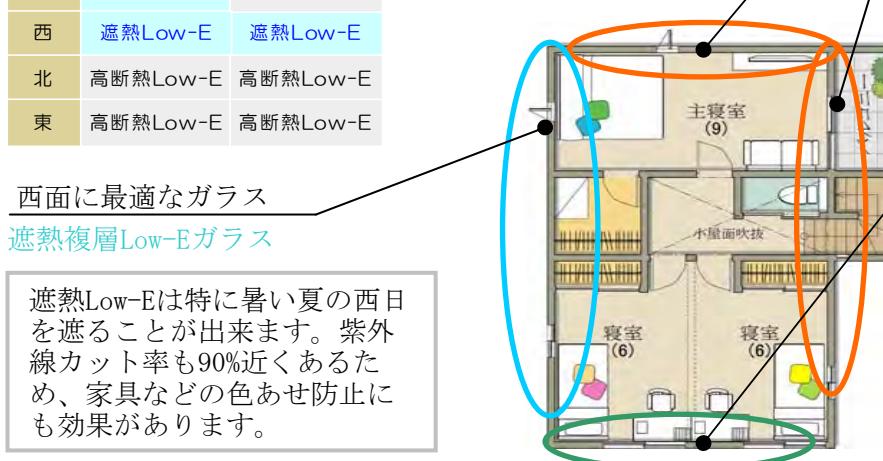
室内の熱を逃げにくくし、また窓面の冷え冷え感を減らして、快適な室内環境にします。



## 北面・東面に最適なガラス

## 高断熱複層Low-Eガラス

日射が入らない北面や、冬に暖かい日差しがほしいダイニングがある東面には高断熱複層ガラスが最適。



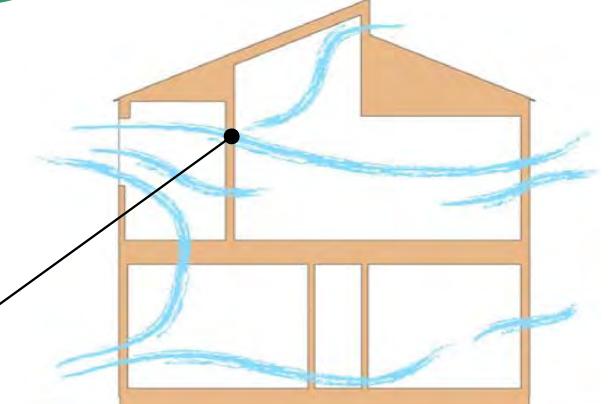
## 南面に最適なガラス

## 高断熱複層Low-Eガラス

## と遮熱複層Low-Eガラス

## 使い分け

窓庇が付けられないシャッター雨戸が付く1階の窓や軒無しの2階の窓などは遮熱Low-E。軒の出650直下にある窓や窓庇が付く場合は高断熱Low-E。



## 「モデル住宅の立面図及び断面図」

### 矩計図 (縮尺S=1/30)

